

悲しいと言えば、今年の2月24日にロシア軍が突然にウクライナに侵攻し、ミサイルや戦車の砲弾でウクライナの美しい町を破壊つくしているのは言語道断です。首都キーウの近くのブチャでは400人以上の人々が虐殺され、戦争犯罪として国際司法裁判所に訴えています。こんなことが21世紀に起ころとは、人間とは悲しいものですね。

梅雨入り前のさわやかな青空が広がっています。皆様いかがお過ごしでしょうか。新型コロナのオミクロン株の感染流行がまだまだ治まらず、外出時にはマスクをつけるのは鬱陶しいことです。

2年前に中国で発生した新型コロナの世界的感染流行で、5月21日現在の世界感染者は5億2400万人、死者は628万人に達しており、その間に感染予防のためにワクチンが開発されました。充分に世界中に行き渡らず、世界の人的交流が制限されたり、海外旅行や外出制限もあり、ホテルや飲食関係また旅行業者が倒産したり縮小したりして仕事を解雇され、大変な目にあっています。母子家庭の方が働く場所を失い、お子様に充分な食べ物を与えることが出来ない状態は悲惨です。大学生達もアルバイトが出来ず、親からの仕送りが少なくて、大学を中退する人が増えているのも悲しいですね。

『大無量寿經』に、お釈迦様は「この世は不仁である。すべての生き物が弱肉強食ともいうべき風で、強いものは弱いものを征服して、互いに殺し合い、傷つけあって、蛇のように呑み、狼のように嚼もうとしている。善といつては塵ばかりも修めず、道に背き、法に違ひ、悪逆無道の限りを尽くす。従つてその報いは直ちにあらわれて殃罰を受け、自然に悪趣に堕ちて苦を受ける」と述べています。

「仁」とは①己の欲に克ち、他に対するいたわりの心②愛情を他に及ぼすこと。慈しみ・思いやりと辞典にありますが、ロシアのプーチン大統領も仁が欠けていたのですね。ご本人はソ連時代に兄弟国であったウクライナを、ロシアの一部として共に歩むことがベストだと勝手に思いこんで、侵略戦争を起こしたのです。ロシア国民に、自分の正当性を訴えるために、プロパガンダ（政治的偽情報）を垂れ流し続けています。ウクライナの人も、ロシアの人も、近隣諸国の人も、世界中の人も、戦争を止める努力を何としてでもしたいものですね。

現代を生きる私たちにとって幸せとは何なのだろうか。若い女の子に聞くと、「おしゃれで素敵な家や居住空間のなかで、おいしいものを味わうことが、喜びであり幸せである」と答えていました。誰からも邪魔されない自分だけの空間と時間を持つ。たとえば自分の勉強部屋や寝室で、読書や音楽を味わう贅沢な時間を過ごすことが幸せだと信じて、努力して、その実現を目指しているときが私たちの一番の幸せなのかも知れません。目標が達成できると、生きる目標を見失い、「次は何をめがけて生きるのか」と悩むことになるからです。

誰からも邪魔されない空間と時間を持ち過ぎた高齢者的人が、新型コロナの感染予防で外出自粛して孤独になりすぎ、自死をする人が増えています。テレビやドラマで活躍していた俳優の渡辺裕之（66）さんが5月3日に、芸人の上島竜兵（61）さんが5月11日に突然自死して世間を悲しませましたが、二人とも見かけは幸せそうでした。人は本来は孤独なもの。だからこそ人を慈しもうよ。合掌（奥原 疊龍）



カット：本多絵子

第389号

行
真
宗
寺
奥
原
曇
龍
倉敷市早高426
(086)420-1311



日時・六月八日「水曜日」午後一半時から四時まで。

『歎異抄（たんにじょう）』に学ぶ

場所・倉敷市早高426 新本堂 電話 086-420-1311

ともしびを読みたい方、
お寺についてもっと知りたい方

心光寺 倉敷

検索



カット：奥原 紗衣



お釈迦様ものがたり



先月号では、コーサラ国で祇園精舎が建立された経緯を書かせて頂きましたが、もう少し書いてみたいと思います。

お釈迦様の在世当時にインドの強国は、マガダ国とコーサラ国でした。お釈迦様は現在のネパール近くにあつた釈迦族の王子として誕生しましたが、コーサラ国とは70キロしか離れておらず、釈迦国は後にコーサラ国に滅ぼされています。お釈迦様が29歳の時、王子の位を捨てて出家しますが、600キロも離れたマガダ国に師を求めて旅立ちました。

マガダ国には様々な思想家がいて、古い考え方のバラモン教にとらわれず、人のあり方や人間はどう生きるべきかということを真剣に考える自由思想家達が多くいました。しかし、コーサラ国には古い宗教のバラモン教の信仰が篤く、自由思想家が少ないと、噂を聞いていたので、行かなかつたようです。たまたまマガダ国に商売に来ていたスマッタ（給孤独）長者は、お釈迦様の説法に出会つて感激し、自分の故郷であるコーサラ国にも来遊を仰ぎ、その教化を懇願します。

お釈迦様に来て頂くと言うことは、仏教教団の全員を招待することになります。そこで千人以上も居住し、修行する場所がなければ招待が出来ないので、造られたのが仏道修行の道場である祇園精舎だつたのです。

コーサラ国（現マガダ）の首都であるサーヴァティー（舍衛城）の近郊に造られた立派な祇園精舎でしたが、この国は古いバラモン教や外教の教えに凝り固まっている人が多かつたので、仏教の教えが行き渡らず、お釈迦様も苦労したようです。

お釈迦様の一番弟子であつたサーリイップタ（舍利弗）が祇園精舎の造営監督をしたことで、外教の人たちとの論戦がたびたびありました。智慧第一の舍利弗は優しく相手を論破し導いていきました。合掌（奥原曇龍）

鐘撞いて僧が傘さす戻り梅雨ともしび

の寺は蛙の大合唱

田辺多恵子

「梅雨晴れや亡き父母供養にただ一人ともしび輝く雨宿りの寺」

倉敷市西坂

貝原富美子

倉敷市中島

柳谷 順子

「雨にもマケズ 風にもマケズ」 子供の頃、習ったときはまったく理解できず、面白い人だなと思いました。ところが今、70歳過ぎて全くその通りになりたいと思いません。大きい声で読むと、心が晴れやかになります。倉敷市阿知 高橋 洋子

6月は梅雨時期です。ジメジメとした日本の夏がやってきました。老人や赤ちゃんたちは辛い季節です。新型コロナもあり、皆様お元気でお過ごしでしょうか。心光寺坊守（ぼうもり） 奥原 博子

ともしび法話



5月11日 ともしび説法(心光寺本堂にて)

ともしび説法

日時・六月八日「水曜日」午後一半時から四時まで。

『歎異抄（たんにしよう）に学ぶ』

場所・倉敷市早高四一六 心光寺（しんこうじ）本堂にて

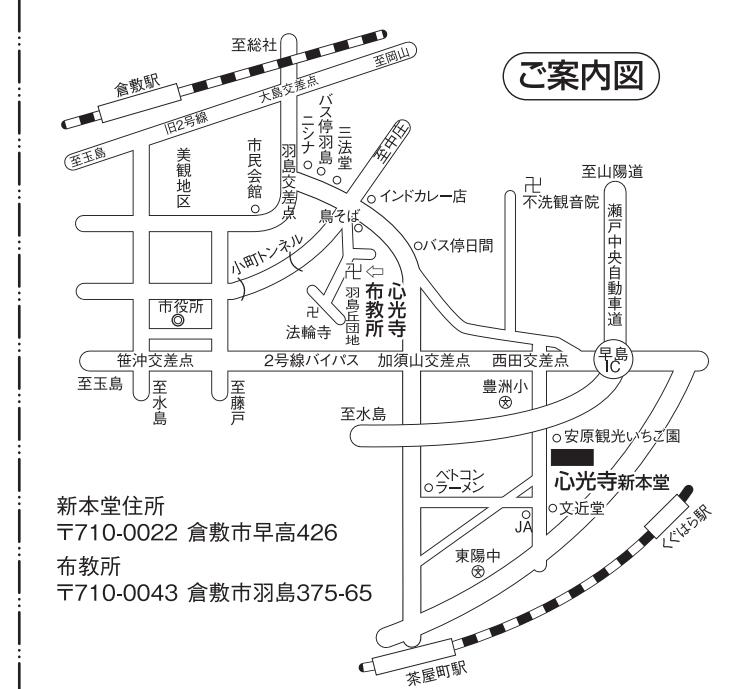
電話・（086-420-1311）駐車場有り

（宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。）

○ともしび説法・お寺の行事予定

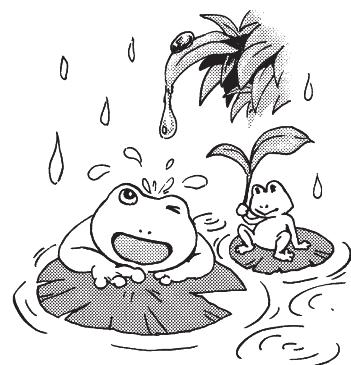
七月七日（木）午後一時半から午後四時・早高の本堂。
八月二十三日（火）午前十時から午後十二時・早高の本堂。
九月八日（木）午前十時から午後十二時・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。（賛助会員募集中）。ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの費用がかかります。賛助会員になつて下さる方が喜しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。（お電話下さい）



こここの詩

ジメジメした梅雨の時期
楽に過ごせる場所をさがすが
立派な人はどの季節も大切にし
ルーズな生き方をしないようだ
冷静に紫陽花の花や蛙を見る
勞をいとわず自然を觀察すると
梅雨は多くのいのちを育む



カット:吉岡美枝

〒710-0022 倉敷市早高426

浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「389号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目指しています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は、心光寺までご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 本家豊彦

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人（しんらんしょうにん）です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんに紹介してもらうより、自分でお寺は決めよう。